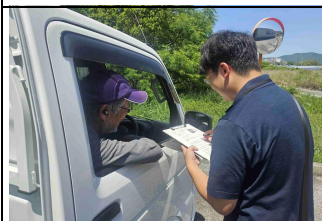


普及活動情勢報告（令和８年６月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

ナスの葉が黄色くありませんか？～赤野集出荷場営農相談～



黄化葉について聞き取りを行う普及指導員

農業改良普及課はＪＡ営農指導員と共に、赤野集出荷場組合員を対象に、出荷に訪れた生産者に対して毎月１回、営農相談を開催しています。

ナスの品種「PCお竜」は栽培期間中に葉の黄化が発生し、生育や収量への影響が問題となっており、５月１８日は営農相談に加え、黄化葉発生状況に関する聞き取り調査を実施しました。回答した農家２１名のうち、約７５％が黄化葉が発生していると答え、「着果が多い時期に発生した」「黄化葉がでたら芽吹きが遅い」という声が多く上がりました。

今後は、調査結果をもとにPCお竜の黄化葉発生要因を分析し、発生軽減に向けて実証ほを設置し、対策を検討していきます。

アボカド収穫量確保に向けて～大平・西ノ平集落営農組織改植作業及び総会～



アボカド改植作業する組合員と関係機関

５月１９日、奈半利町の大平・西ノ平集落営農組織がアボカド栽培ほ場でアボカド生育不良株の改植作業を行い、組合員及び関係機関ら６名が参加しました。

作業後はほ場に隣接した倉庫で、令和８年度大原西の平集落営農組織総会を行いました。総会では、マルチング等今後の栽培管理について、日程調整や役割分担を行いました。組合員からは「晴天が続いた時は、動噴でかん水をする」「天気の良い時に畦の草刈りをしておく」等アボカド栽培に向けて意欲的な声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し組織活動が順調に行われるよう支援していきます。

持続可能な農業を継続していこう！～ＪＡ安芸地区柚子部中山支部総会～



土づくりを働きかける普及指導員

５月２４日、安田町中山公民館で、有機農業を実践しているＪＡ柚子部中山支部の総会が開催され、部会員２９名が参加しました。

農業改良普及課は、化学肥料・農薬の使用低減などに取り組む農業者の認定制度である「みどり認定」の取得に向けて、部会員に制度の内容や堆肥・土壌診断について情報提供をしました。

部会長は多くの部会員に認定を取得してもらいたいと考えており、８月には改めて土づくりや施肥などの勉強会を開催することが決まりました。

農業改良普及課は、関係機関と連携しながら、年度内のみどり認定取得を支援していきます。

去年の振り返りと今年の活動計画を共有！

～ひなたぼっこ総会～



意見を出し合う構成員ら

5月26日、日南・大平地区集落活動センター「ひなたぼっこ」は令和7年度総会を開催し、構成員8名や関係機関を含めた18人が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は、令和7年度に開始した促成ぼたなすにおける栽培や販売等の振り返りと5月19日に定植した雨よけぼたなすの今後の栽培管理等について情報共有し、意見交換しました。

構成員からは「ぼたなすを核として集落を活性化していきたい、今年は雨よけ栽培で3.5t/10aを目標に頑張る」との意見が聞かれました。

今後も室戸支所はぼたなすの振興を中心にひなたぼっこへの伴走支援を継続します。

芸西村の農業を学ぼう～ハスモンヨトウトラップの製作～



トラップ製作を
補助する普及員

6月4日、青年農業士会芸西地区と農業改良普及課は、芸西小学校3年生23名を対象に、ハスモンヨトウトラップの製作授業を実施しました。

農業改良普及課は、5月26日に事前学習として出前授業を実施し、芸西村の天敵昆虫を利用した農業とハスモンヨトウトラップの制作方法についてについての説明を行いました。

児童からは、「いっぱいトラップがあったら虫がいなくなるかもしれない。」「これでナスがいっぱい取れると思う。」との声があり、芸西村の農業への関心を深めたようでした。

農業改良普及課は、今後も青年農業士会の活動を支援をしていきます。